府中市自然環境調査　野鳥　2022年度6月　観察場所：武蔵台公園　観察時間：9時30分～11時15分　観察担当者　阿久津、多田、橋本、宮島

22年度観察数

番号	科	名称	天気 晴	曇	雨	観察月数	観察数合計
観察月			4	5	6		
観察日			13	11	8		
1	ｶﾓ	ｶﾙｶﾞﾓ				0	0
2	ﾊﾄ	ｷｼﾞﾊﾞﾄ	1	6	2	3	9
3	ｳ	ｶﾜｳ				0	0
4	ｻｷﾞ	ｱｵｻｷﾞ				0	0
5	ｻｷﾞ	ﾀﾞｲｻｷﾞ				0	0
6	ｶｯｺｳ	ﾂﾂﾄﾞﾘ ・				0	0
7	ﾄﾋﾞ	ﾄﾋﾞ ○				0	0
8	ﾀｶ	ﾂﾐ VU				0	0
9	ﾀｶ	ﾊｲﾀｶ VU				0	0
10	ｷﾂﾂｷ	ｺｹﾞﾗ	3		5	2	8
11	ｷﾂﾂｷ	ｱｶｹﾞﾗ ○				0	0
12	ｷﾂﾂｷ	ｱｵｹﾞﾗ ○	1	1	2	3	4
13	ﾊﾔﾌﾞｻ	ﾁｮｳｹﾞﾝﾎﾞｳ VU				0	0
14	ﾊﾔﾌﾞｻ	ﾊﾔﾌﾞｻ VU				0	0
15	ﾓｽﾞ	ﾓｽﾞ VU				0	0
16	ｶﾗｽ	ｶｹｽ				0	0
17	ｶﾗｽ	ｵﾅｶﾞ NT	9	7	8	3	24
18	ｶﾗｽ	ﾊｼﾎﾞｿｶﾞﾗｽ	4	4	2	3	10
19	ｶﾗｽ	ﾊｼﾌﾞﾄｶﾞﾗｽ	11	7	6	3	24
20	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ﾔﾏｶﾞﾗ ○				0	0
21	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	ｼｼﾞｭｳｶﾗ	21	11	22	3	54
22	ﾂﾊﾞﾒ	ﾂﾊﾞﾒ	2	3	3	3	8
23	ﾂﾊﾞﾒ	ｲｴﾂﾊﾞﾒ NT				0	0
24	ﾋｺﾞﾄﾞﾘ	ﾋｺﾞﾄﾞﾘ	28	16	18	3	62
25	ｳｸﾞｲｽ	ｳｸﾞｲｽ ○			3	1	3
26	ｴﾅｶﾞ	ｴﾅｶﾞ NT	6	4		2	10
27	ﾒｼﾞﾛ	ﾒｼﾞﾛ				0	0
28	ﾑｸﾄﾞﾘ	ﾑｸﾄﾞﾘ		17	2	2	19
29	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾛﾊﾗ	1			1	1
30	ﾋﾞﾀｷ	ﾂｸﾞﾐ				0	0
31	ﾋﾀｷ	ﾙﾘﾋﾞﾀｷ				0	0
32	ﾋﾞﾀｷ	ｼﾞｮｳﾋﾞﾀｷ				0	0
33	ﾋﾞﾀｷ	ｺｻﾒﾋﾞﾀｷ VU				0	0
34	ｽｽﾞﾒ	ｽｽﾞﾒ				0	0
35	ｾｷﾚｲ	ﾊｸｾｷﾚｲ				0	0
36	ｱﾄﾘ	ｱﾄﾘ				0	0
37	ｱﾄﾘ	ｶﾜﾗﾋﾜ				0	0
38	ｱﾄﾘ	ｼﾒ				0	0
39	ｱﾄﾘ	ｲｶﾙ NT				0	0
40	ﾎｵｼﾞﾛ	ｱｵｼﾞ				0	0
延 月 / 年			11	10	11	0	0

ムクドリ

ヒヨドリ

月	22年度コメント
4	手入れにより林床が明るくなった。よく日が降り注ぎ、春の豊かさが感ぜられる。初っ端からアオゲラ、ガビチョウの大きな鳴き声を確認。多数のオナガ、ヒヨドリ、シジュウカラ、カラス及び少数のコゲラ、エナガを確認。緑色低木の茂みにシロハラ(冬鳥)確認。上空にツバメ、種不明の猛禽を目視。ウグイスは確認されなかった。
5	囀りは先月よりは少ないように感じるがシジュウカラとガビチョウはよく鳴いていた。ヤマザクラの若葉の中に羽をばたつかせる個体に遭遇、巣立ちしたばかりのヒヨドリの幼鳥と見守る親鳥のようだった。ヤマザクラのキツツキの穴が深くなり、下方にも掘り進んでいるように見えた。オナガの幼い声がきこえた。
6	シジュウカラの幼鳥の声が数か所で聞こえた。子育ては順調のようだ。アオゲラの声も2か所で聞こえたが、姿は見つけられなかった。ウグイスの囀りも3か所できこえたが、ガビチョウは6羽観察された。その中には、虫を咥えて運んでいるものもあった。残念ながら、この公園内で営巣しているようだ。
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

注1：表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。
注2：名称欄記号は、2020年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

外来種

観察月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ｶﾜﾗﾊﾞﾄ												
ｶﾞﾋﾞﾁｮｳ	4	3	6									
ｿｳｼﾁｮｳ												
ﾎﾝｾｲｲﾝｺ												

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。

2020年版　東京都レッドリスト
対象地域　北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの
ランク外	○	前回2010年版に掲載されていて今回の改定によりレッドリストから外れた種
非分布	・	主要な生息地でないという理由から対象外とされた種